

平29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	旧市庁舎を始めとする既存ストックを活用したまちづくりの実践事業
事業主体 (連絡先)	岡谷市旧庁舎活用チーム 連絡先：事務局 宮澤正輝 090-1829-9627 0266-78-3847
事業区分	(1) 地域協働の推進に関する事業 (5) 環境保全及び景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	562,854 円 (うち支援金：343,000 円)

事業内容

岡谷市内には旧市庁舎を始めとする既存ストックが残されています。地域の活性化には、それをまちづくりに活かすことが必要です。そのためには、より多くの市民の意識啓発と参加が不可欠です。この事業はそれらを促進するとともに、市内既存ストック（空き家含む）の利活用や地域の活性化に資することを目的としました。

- ・市内の模型づくりの実施 H29年5月～H30年2月
- ・市内小学校の社会科授業のサポート H29年6月～11月
- ・まちづくり関連の講演会の実施 H29年8月～12月



【模型づくりの様子】

(H30/02/19 市民新聞記事)

【目標・ねらい】

- ① 既存ストックを活かしたまちづくりへの参加市民の増加
- ② 既存ストックを活かしたまちづくりへの市民の意識啓発

※自己評価【 A 】

【理由】

- ・旧庁舎活用チームの活動メンバーが10%増加
- ・旧市庁舎を始めとする既存ストックを活用したまちづくりへの参加市民が予想以上に増加

事業効果

- ① 支援金を活用して、参加型のプロセで市内の模型づくりを行うとともに、小学校の社会科授業をサポートすることで、岡谷のまちの既存ストックを活かしたまちづくりに、老若男女、幅広い、多くの市民の参加を得られた。
- ② 支援金を活用して、小学校の社会科授業のサポートやまちづくり関連の講演会を行うことで、岡谷のまちの既存ストックを活かしたまちづくりについて、老若男女、幅広い、多くの市民の関心や意識を高められた。

今後の取り組み

今後は、製作した模型も活用しながら、具体的にエリアを絞り、地域の人々を巻き込み、地域の活性化や地域の課題解決に資する既存ストックの利活用について検討提案を行う予定です。その際は、外部の専門家を招き、既存ストックの具体的な活用方法、資金調達、改修方法、運営方法等について地域の人々と学び、知識と技術の向上を図る予定です。さらに、より多くの市民に参加いただけるよう、イベント内容や告知方法について工夫する予定です。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある